

いわき民報 発行所 いわき市平字田町63 社 野沢 武蔵 電話(編集) 4161 (販売) 4162 (広告) 4163 あすから 2月 注文服納め54年 平・三町目 電2418

大蔵省から最高調査団

新産都市 新たな角度で検討へ

大蔵省の付属機関である財政研究会の大蔵三橋大教授一行十五人は二月一日から一日の日程で来市、いわき市を視察する。これは新産都市の計画調査立案への下調査ともいえる。新産都市最高調査団を迎えることになる。

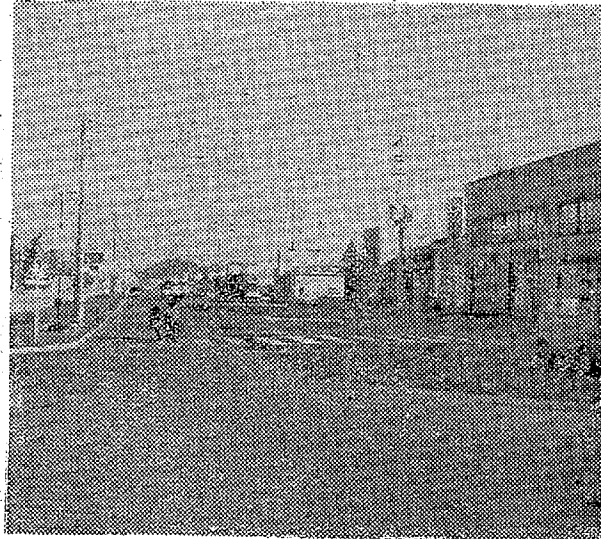
教授陣など 一行十数人

来市する大蔵省財政研究会のメンバーは大川三橋大教授、江原一橋大教授、大熊一郎大教授、柴田徳輔都大助教授、佐藤武蔵大教授、吉田誠司大教授の六教授陣で、これに大蔵省主計局整理課長、山崎同課長補佐、四人の事務官、東北財務局長の総務部長、主計課長、配課長が随行者。

歩道橋新設に「待った」

平三 小前 病院が場所変更求める

大倉園道の交通量が激増してあり、交通安全の面で歩道橋新設が急務である。平三小前病院の敷地内に歩道橋を新設する計画があるが、病院側は敷地内を歩道橋の通路とすることを認めない。また、歩道橋の建設に際しては、病院の敷地内を歩道橋の通路とすることを認めない。また、歩道橋の建設に際しては、病院の敷地内を歩道橋の通路とすることを認めない。



ダブルボーナス支給

いわき市は三十一日、ダブルボーナスを三十四日職員に支給した。これは人事院勧告に基づき、六・四〇(賞与八〇%)の増額を九、ひの平均二万九千、最高四万円、支給総額は六千五百万円に達した。これにより、一般職員に対する人件費は年間で七億五千五百万円に達する。

歩道橋の必要はよくわかってはいるが、私としては家の前に通られるのは反対だ。何とか別なところに通る様に計画をねがひたい。と、これまた強気なので、解決はまだ先のことと、警署の四回目に解決しない歩道橋建設は遅れ、要知照不であつた。大蔵省も起すか、なない。住民は心配している。

水品でシイタケ栽培を講習 いわき市水品会は二十一日、後六時から農林部、区農会、農協、農協会を開いた。テーマはシイタケの栽培、同地区の副業としてその栽培をとり入れようというものであった。

平地学同好会で会報九号 平地学同好会(会長柳沢一郎)は同会会報九号を発刊した。本号は去る七月福島県平地学研究会と合同で研究発表を行った折りの記念特号となっている。県内の各地に多く散在する庄屋物住や、地質学的な考察や写真や図解で一般にもわかりやすくなっている。

生活のあり方 四倉町公民館主催の四倉地区婦人問題研究会は二十一日午前九時から四倉公民館センターで開く。四倉地区婦人団体の百五十人が集まり、生活問題を中心とした婦人の生活の在り方」を主題話し合つた。講話者として富沢初一氏(久志公民館主任)佐川義文氏(遠野町長)が参加する。

水揚げで活況 警署では、セロロイワシの獲獲期、小倉漁市場の場、多いと、二百、を越えるセロロイワシの水揚げが活況を呈している。このイワシは、大部分が刺し網の漁獲となっているが、魚船は一、二隻、十日前後の高値をたたき、セロロイワシの値は、七十五、百五十円、という値になっている。セロロイワシは、サンマ並みの値になっている。

人事消息 新産都市の元常務地区新産都市建設促進協議会、石城地方市町村協議会事務局長橋本政氏(三十一日退職)の引退のため、新任事務局長に、

高坂の集団赤痢が終そく 隔離者20人で いわき市四内町高坂に発生した集団赤痢は、終そくした。隔離者20人で、二十日以後の発生は、おとな、真性赤痢、保菌者十七人で終そくした。

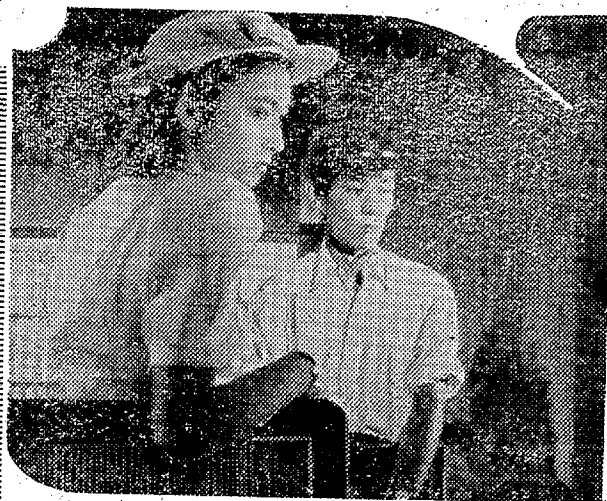
県出先機関と緊密な連携へ 大和市長が初級院 いわき市は三十日午前十一時から平市民会館で初の県出先機関長懇談会を開いた。

定休日のお知らせ 明1日(水)は休ませていただきます。 定休日: 毎月 第一・三水曜日です。

容理 barber SENSE センス ダンディーの条件! それはセンスのある容理でああなたの個性を100%生かすことです! 優秀な容理師が3人あなたのおいでをお待ちしております いわき市平字南町19の2番地

内外映画ベストテン

いわき民報社 1966年度



圧倒的な絶唱、日本映画

外国映画は「荒野の用心棒」

(外国映画)

第十五回いわき民報内外映画ベストテン(一九六六年度)選出金は、二十七日いわき市平字田町(いわき民報ビル)に開演者が集まって開かれ、次のとおり決まった。出席者は、ひかり座藤野三郎、警察館第地蔵次、平日活劇部仁東、東映三夜鈴木剛、東宝民劇部野学、名画座相川政晴の各氏と、いわき民報社代表。

①荒野の用心棒 一四四〇〇票
②サンダーボール作戦 五五〇〇票
③四角の砂 四九〇〇票
④湖の琴 四八〇〇票
⑤三日月の川 二八〇〇票
⑥愛と死の記録 二五〇〇票
⑦二万三千人の容疑者 二五〇〇票
⑧花 二五〇〇票
⑨おはなはん 二四〇〇票
⑩他人の顔 二二〇〇票

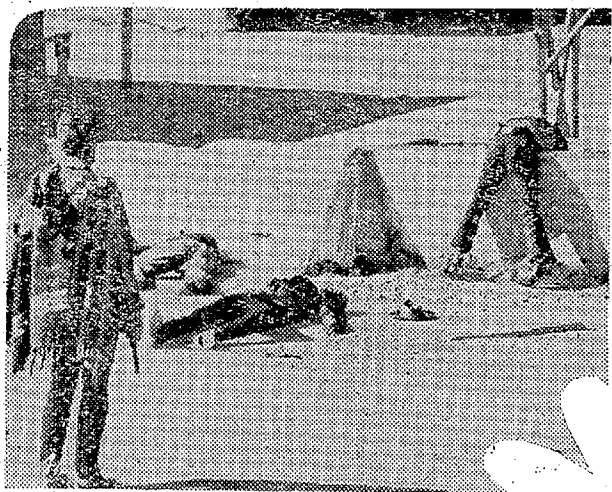
日本映画

日本映画

- 第1位 映画 絶唱 監督 荒井 和泉
- 第2位 映画 白い巨塔 監督 山本薩夫
- 第3位 映画 湖の琴 監督 田坂 豊隆
- 第4位 映画 氷点 監督 山本薩夫
- 第5位 映画 紀の川 監督 中村登
- 第6位 映画 愛と死の記録 監督 斎藤寅次郎
- 第7位 映画 クレオパトラ 監督 ジョージ・L・マンキーウィッツ
- 第8位 映画 野生のエルザ 監督 ジョージ・キューカー
- 第9位 映画 汚れた悪戯 監督 ヴァージニア・マッケンナ
- 第10位 映画 名譽と栄光のため 監督 マーク・ロブソン

外国映画

- 第1位 映画 荒野の用心棒 監督 フロイド・ザイツ
- 第2位 映画 サンダーボール作戦 監督 テレンス・ヤング
- 第3位 映画 風が丘 監督 ウィリアム・ワイラー
- 第4位 映画 サウンド・オブ・ミュージック 監督 ロバート・ワイズ
- 第5位 映画 幸(しあわせ) 監督 アニエス・バルダ監督作品
- 第6位 映画 沈丁花 監督 斎藤寅次郎
- 第7位 映画 他人の顔 監督 斎藤寅次郎
- 第8位 映画 野性のエルザ 監督 ジョージ・キューカー
- 第9位 映画 汚れた悪戯 監督 ヴァージニア・マッケンナ
- 第10位 映画 名譽と栄光のため 監督 マーク・ロブソン



荒野の用心棒

佐藤さんと日下部さんが当せん

抽せんして七十人に特別賞を贈る

ベストテンの選出がわかって、ベストテンの抽せんが、荒野の用心棒に投票した賞券の中から、それ以外の作品を上映した平日活劇部藤野三郎、ひかり座藤野三郎の手で、日本映画は、いわき市平字田町(いわき民報ビル)に開演者が集まって開かれ、次のとおり決まった。出席者は、ひかり座藤野三郎、警察館第地蔵次、平日活劇部仁東、東映三夜鈴木剛、東宝民劇部野学、名画座相川政晴の各氏と、いわき民報社代表。

①絶唱 一八〇〇〇票
②湖の琴 四九〇〇票
③三日月の川 二八〇〇票
④愛と死の記録 二五〇〇票
⑤二万三千人の容疑者 二五〇〇票
⑥花 二五〇〇票
⑦おはなはん 二四〇〇票
⑧他人の顔 二二〇〇票

特別賞(映画招待券 順不同 敬称略)
▽平久保町浅田美代子 研町高野富枝 南町影山信子 南町猪狩栄子 八幡小路佐藤三郎 紺屋町秋山ナツエ 仲町山田美知子 旧城跡榎本弘子 紺屋町根本一男 柳町金川信子 六人町星名正夫 南町榎本キミ 研町武田清三 倉町林茂子 北白根町寺島文雄 旧城跡榎本弘子 紺屋町手塚静子 六人町平井文子 研町高野富枝 紺屋町榎本太郎 六人町渡辺英子 研町榎本太郎 研町武田清三 紺屋町高木福子 北白根の船生泰一 新川町高貴光雄 六人町佐々木セイ子 六人町根本義昭 旧城跡金川靖子 五町目榎本右衛門 倉町前大内秀次郎 紺屋町榎本太郎 大町三瓶紀文 四町目榎本勝博 杉平大須賀徳徳 紺屋町手塚静子 白根町榎本マサ子 四町目榎本美智子 仲町山田正子 中神谷高木久子 下神谷大良章 下神谷大幸の子 中神谷謙二 紺美 中神谷内海泰子 中神谷柴田孝子 下神谷徳武 北神谷江沢正正 上平種徳徳和利

▽内編 富町松倉子 紺屋町田嶋子 紺町小林良男 久世原島田吉雄 富町高野代 富町影山三三 御殿町大田アツ 紺屋町岡田照吉

▽外編 湯町上町松浦正 小名浜 古井井上芳子 木町小菅英富 港町の長瀬叶子

一九六六年度ベストテン選出にあたりましては、ご応募下さいましたファン各氏、平地区映画館のご協力に対し深く感謝いたします。

いわき民報社

ご期待下さい! 続 荒野の用心棒

御 礼

1966年度いわき民報映画ベストテンの洋画の部ベストワンに 当館で昨年5月上映した「荒野の用心棒」が選ばれましたことは ファン皆様のご支援の賜ものと 厚く御礼申し上げます

つきましては 今後も皆様にご満足いただけるような映画を上映いたしてまいりたいと存じますので よりいっそうのご愛顧をお願い申し上げます

3月31日から公開 暖房完備 ひかり座

